

ごはんのひみつ

院内小 一畑ん しらいし ふみ

わたしは、ほかのごはんがだいすき  
です。おとうとも、しろいごはんかともす  
きです。ごはんは、たくさんかむと、あまく  
なっできて、もっとおいしくなります。

おがあさんは、いつも、わたしとおとうと  
かっおなかすいたとさめぐと、おやつのが  
わりに、おにぎりとかふりがけごはんをもっ  
てきてくれます。

それから、よる、どうしてもねむれないと  
き、まっしろいごはんをすこしだけたべると、  
なんだかあんしんして、すぐにぬることがで  
きます。ごはんは、わたしにちがらをくれる  
つよいみがたです。

ごはんには、ひみつがあります。それは、  
ごはんはまほうのちがらをもっこいるという  
ことです。

わたしは、きのこがにがてです。だけど、  
おがあさんがつくる、きのこがはいっこいる

おじいちゃん、すごくおいしいです。なんばいでも、おかわりごきます。

それに、おとうとは、ほとんどのやさいかにがてです。だけど、おとうとがとってもすきなカシーのなかに、いろいろながさいをいれて、そのカシーをしろいごはんにかけて、おとうとは、「おいしい、おいしい」とよろこんで、たくさんたべます。

ごはんには、にがてなたべものをおいしくする、まほうのちからがあります。みんなに、も、ごはんのひみつをおしえてあげたいです。そうすれば、みんなのにがてなたべものが、だいこうぶつになるとおもいます。

じつは、わたしには、まだにがてなたべものがあります。それは、すっぱい、うめぼしです。おとうさんとおあさんが、うめぼしは、ごはんといっしょにたべるとおいしいとおしえてくれました。2ねんせいになるまごには、ごはんのまごているまほうのちからをかりて、うめぼしごはんにちようせんします。